

がんのバイオマーカーとしてのノンコーディング RNA の有用性に関する研究

1. 研究の対象

1983 年 1 月から 2016 年 12 月までの間に当院でがんに対する外科手術が行われた患者さんで、切除標本の病理組織ブロックが当院検査部病理に保存されており、術後経過などの臨床データが入手可能な方。

2. 研究目的・方法

転写されながらもタンパク質に翻訳されない RNA (ノンコーディング RNA) は、当初その役割が明らかではありませんでしたが、近年、mRNA のタンパク質への翻訳を抑制したり、mRNA を切断することにより、遺伝子発現を抑制していることが明らかになりました。さまざまながんにおいてもこれらのノンコーディング RNA の発現ががん細胞の増殖等に関与している可能性が示唆され、バイオマーカーとしての役割が期待されています。本研究では、すでに保存している検体を用いて、がん細胞におけるさまざまなノンコーディング RNA の発現と予後や治療効果との関連を調べます。研究期間は学校長承認後から平成 33 年 3 月 31 日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、リンパ節転移の有無、生存期間 等

試料：病理検体

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

防衛医科大学校 病態病理学講座

〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

電話：04-2995-1511 (内線 2279)

FAX：04-2996-5197

研究責任者：佐藤 仁哉